

基礎・基本の定着に向けた学習指導

【越谷市教育委員会】

- 1 学校、学年、教科 小学校、第4学年、理科
- 2 ねらい 授業や家庭学習を充実させ、理科の基礎・基本の定着と学力の向上を図る。

3 取組内容

(1) 理科の基礎・基本の定着を図る授業の取組

- ・授業の前半部分で実験内容や方法を十分に理解させてから実験を行わせた。
- ・確実に知識、技能を身につけさせるために、実験は常に少人数で行わせた。(図1)
- ・実験は、日常生活と関連付けさせ、実感を伴わせるようにした。
- ・実験を補足し、パソコンを活用した学習を取り入れた。(図2)
- ・要点及び基礎・基本となる用語の理解、児童の発表等で、ICT機器を効果的に活用した。
- ・実験の予想、結果、考察、まとめはていねいに板書し、児童にとって分かりやすい板書を心がけた。(図3)
- ・発表する際は、根拠となる理由を必ず言わせるようにした。(図4)
- ・児童のノートには必ず目を通し、正しく理解できているか確かめ、必要に応じて朱書きを行った。
- ・単元のまとめで新聞を書くことや定着プリントで復習することを定期的に行った。

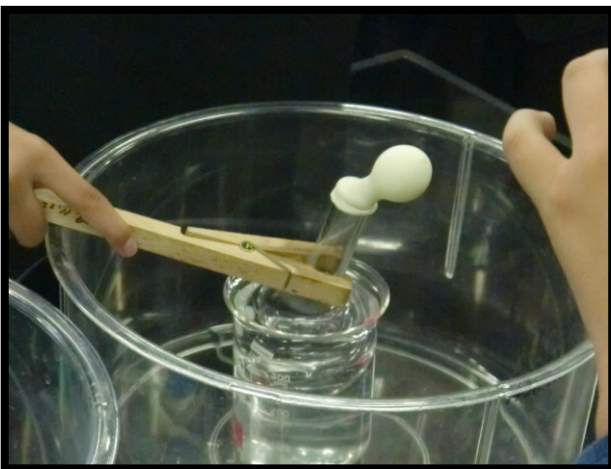


図1 全員に行わせた実験



図2 パソコンを活用した学習

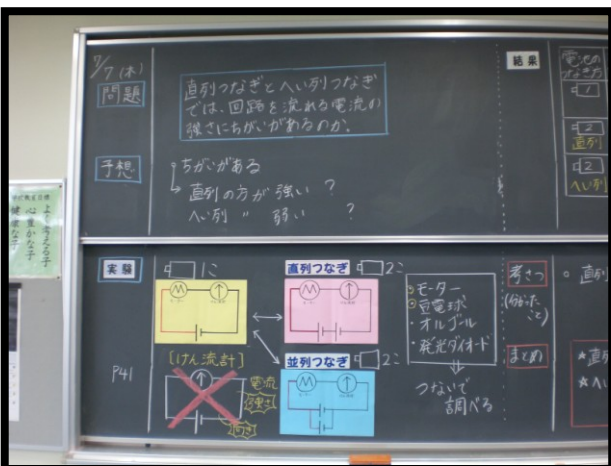


図3 児童にとって分かりやすい板書



図4 根拠を明らかにした発表

(2) 理科の基礎・基本の定着を図る家庭学習の取組

- ・「星座の観察」や「磁石に付くものさがし」、「昆虫・植物探し」、「公園でのかげふみ」等、保護者の協力を得て、家庭学習として取り組ませた。
- ・単元テストの前日には、基礎基本の定着を確認する復習プリントを宿題として取り組ませた。学校では解答及び定着率が低い問題の復習を行った。
- ・学期末には、理科を含む主要4教科の復習ドリルに取り組ませた。
- ・日頃から、ノートはていねいに書かせるように指導し、ノートを活用した家庭学習を励行した。(図5)
- ・学力向上につながるような効果的な家庭学習ノート(※)は、実物投影機を活用して紹介、賞賛することで全体に広めた。(図6)

※基礎・基本の定着につながるような要点のまとめたノート

※自分の考えを理科の用語を活用してまとめたノート

※実験結果を図やグラフ等を使って工夫してまとめたノート 等

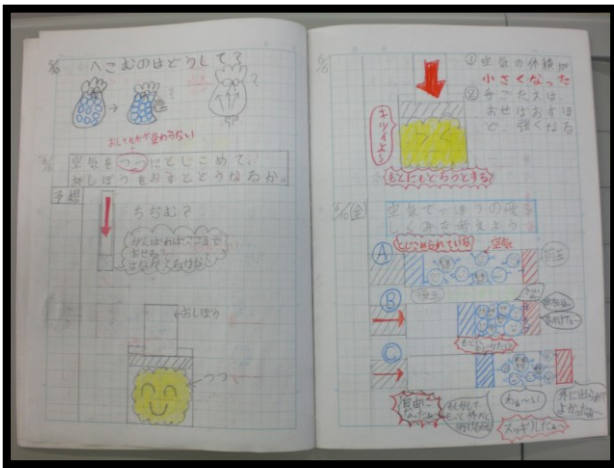


図5 ノートを活用した家庭学習の励行

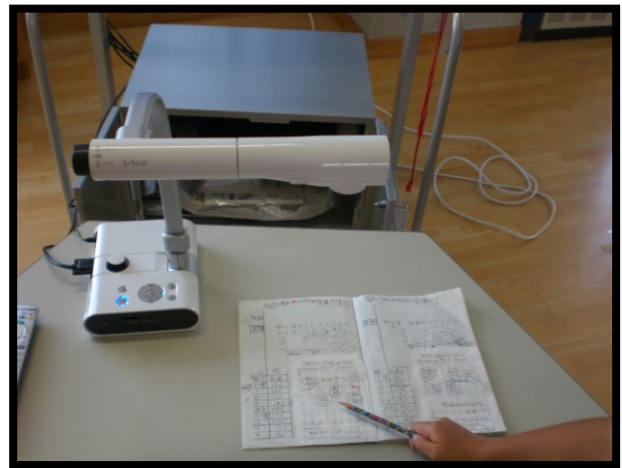


図6 実物投影機を活用した家庭学習ノートの紹介

4 成果と課題

【成果】

- 埼玉県小学校学習状況調査の「理科」の正答率が、県平均を大きく上回った。
- 全員が体験できるような実験の場を用意したことで、児童一人一人の知識、技能が身についてきた。
- 予想、実験、結果、考察するというプロセスをていねいに板書したことで、児童のノートをまとめる力も高まり、基礎的基本的な知識技能の習得に効果が表れている。
- ICT機器を効果的に活用したことで、児童の意欲を高めると同時に、基礎基本の定着にもよい効果が表れている。
- 基礎・基本の定着を確認する復習プリントを学期末等に宿題として行ったことで、児童の定着率が把握でき、課題に対する適切な復習を行うことができた。

【課題】

- △理科に対する意欲の低い児童や理科の基礎的基本的な知識技能に課題のある児童への個別の支援を大切にした授業を展開する。
- △実感を伴った実験をさらに充実させていく。
- △家庭学習の量や質に個人差が見られるので、懇談会や学校だより等で保護者への協力を呼びかける。